



しずくいしちょうしゃかいふくしきょうぎかい
雫石町社会福祉協議会

編集と発行／雫石町千刈田82-2 雫石町総合福祉センター内
TEL：692-2230 FAX：691-1140
e-mail：shizuku-shakyo@shisha.or.jp
http://www.shisha.or.jp
ホームページからご覧になれます。

社協だより

2012
DEC
69号

基本目標：
「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」



もくじ

- ◆平成24年度雫石町地域福祉懇談会 2～3 P
- ◆平成24年度赤い羽根共同募金実績報告 4 P
- ◆第65回岩手県社会福祉大会 5 P
- ◆西山保育園だよりVol.7 6～7 P
- ◆社協トピックス 8～9 P
- ◆お知らせ 10 P

表紙写真：今年度より、始めました男性を対象とした「男の介護教室」の様子です。いざという時のために困らないよう、技術を身に付けようと皆さん一生懸命に取り組んでいます。

地域福祉懇談会開催 をお伺いしました

町社会福祉協議会は10月22日から10月26日の期間、町内10会場で平成24年度雫石町地域福祉懇談会を開催し、全会場合わせて221名の方々にご出席いただきました。

今回の懇談会のテーマは、「今地域で課題となっていること。」であり、主に地域のコミュニティづくりや介護問題、後継者問題について、町民の皆様より、貴重なご意見・ご質問をいただきました。

懇談会で頂戴いたしました、ご意見・ご質問の中から抜粋してまとめましたので、紹介させていただきます。



雫石地区

- 地域ではお盆に迎え火・送り火など多くの行事を企画実施しているが、参加者の固定化がみられ、若い方々の参加が余りみられない。
- 除雪などについて、心構えはあるか。
- 高齢者世帯では、玄関先の除雪などを、除雪機を持っている方に個人的にお願いしている方もいるが、そういった支援・課題について、どのように考えているのか。
- 民生委員の方々の担当する行政区によって、人口数・世帯数に大小があるが、今後、増員や組み換え等の見直しを行うことはあるのか。
- 車イス利用者の方から、公共交通機関を利用した際に、運転手によって、面倒がられ辛い思いをしたという話を聞いたので、家庭訪問などを行い、介護者・障がい者の意見を伝えるような代弁者が必要だと思う。
- 人口の減少が問題となっているが、その背景には、晩婚化傾向等の問題の他に、人口構成のバランスも関係していると思う。

橋場地区

- 介護保険について、どこで相談したらいいかわからない方が多くいると思う。どこに行けば相談できるのか。
- 西山地区に介護施設ができたと言いたが、御明神地区に施設を設置する予定はないのか。また、施設のサービスの内容や料金について、教えてほしい。
- 救急車を呼んだ際に、健康状態によっては、現場に来てもらえない事があるのか。

南畑地区

- 高齢者しかいない地域もあり、コミュニティの範囲を広げるにより、その地域の問題解決能力の向上につながると思う。
- 小学校の子どもたちと、ラジオ体操や草取り等を通じて楽しい時間を過ごしている。子どもたちと高齢者との交流する機会をもっと増やしてほしい。

御明神地区

- 町内に独居・夫婦老人が増えてきているが、昼食サービスを利用することはできるのか。また、サービスの開始には、申請・調査などの手続きが完了しなければならないのか。
- 低所得でも、入所が可能な施設はあるのか。また、施設間での料金の違いの理由を教えて欲しい。
- 社協主催のお見合いパーティーの参加対象者はどのようなになっているのか。

平成24年度 栗石町

～地域の皆さんの声～

大村地区

- 明日には自分が介護を受けなければならないか不安になる。介護保険で賄える、高齢者を対象とした、託老所のような施設があれば認知症対策等にいいのではないか。
- 社協主催のお見合いパーティーの結果はどうか。
- 昔は、縁談等に世話をやく人がいたが、最近はそういう人もいない。これも、ひとり者が増えた理由の一つだと思う。

安庭地区

- 健康祭などで、地区・班対抗でスポーツを行い、若い人たちと昼食をする等の交流を行っている。また、コミュニティー事業で独居老人世帯等に関しては、班長さんを中心におにぎり弁当を届けたことがある。
- 片子沢ふれあいサロンでは、窓を開けて声掛け等を行う見守り活動を二人一組で行っている。
- 町内で介護している方は何人程いるのか。
- 転居されてきた方と交流を持つことが難しい。
- 老人クラブでも、会員数の減少が深刻になっている。

下長山地区

- 区長・班長等の後継者がいない。
- サロンでは、日中独居老人や夫婦老人等の見守りを行っている。また、子どもたちの見守りに関して、老人クラブでの見守りの他に、地域の方々に、散歩などの際に、通学路を歩いてもらう等、心がけてもらっている。
- 昨年のような大震災がいつ起こるかわからないので、防災訓練に関しても、地域の方々にもっと関心をもって参加してほしい。地区の避難場所を知らないのは、問題である。
- お見合いパーティーついて、参加を進めた方がいたが面倒だと断られたことがある。いくら、熱心に取り組んでも、本人の意欲がないと難しい。

セツ森地区

- 松寿荘は、どういう方が利用されているのか。
- 老人クラブの会員の約半分が80歳以上で、クラブ内でも高齢化が進んでおり、若い世代の加入が望まれるが、加入者がなく後継者づくりにも関わる深刻な問題である。
- 若い世代の世帯数が少なく、転出者の方が多くみられ、地域の活性化につながらない。
- 敬老会のバスの停留所について、苦情が多いようなので、来年度以降改善してほしい。
- 町内に歩道のある通学路が少なく、除雪の時期になれば、より狭くなり危険になるので改善してほしい。

上長山地区

- 五区や林地区等のように、男性が参加しやすいサロンがあるのは、大変すばらしいと思う。
- 価値観や人間性等の違いから、地域でまとめることが難しくなり、昔より複雑になった。
- 障がい者の虐待について、通報があった場合は、どのように対応すればよいのか。
- 短期間でも入所できる施設を望む住民が多いと思うので、今後増設することはできないのか。
- 町外からも、若い人を招くことが必要だと思う。
- 男性の介護教室は、女性だけでなく多くの方々に介護に対して、興味を持っていただけるいい機会なので、継続してもらいたい。

西根地区

- 自主防災活動として、分署職員の指導の下、防災訓練を実施している。また、小学生とともに、花植えなどの地域づくりを通じた交流も行っている。
- 西山診療所の閉所続き、町内から医者が減少し、不便な思いとともに、不安を感じる。町では何か対策を考えているのか。
- 大村地区では、学校統合の話がでしたが、西根小学校では統合についてはどのように考えているのか。
- 病院の通院等の際に、交通機関利用が不便である。
・診療所と病院の違いは何なのか。



赤い羽根共同募金運動

～じぶんの町を良くするしくみ。～

平成 24 年 11 月 1 日現在

総額 2,456,080円

平成 24 年度赤い羽根共同募金 法人等募金実績

雫石町役場職員一同 様	41,138円
高橋医院 様	20,000円
岩井建設(株) 様	10,000円
岩手大崎電気(株) 様	10,000円
小岩井農牧(株)小岩井農場 様	10,000円
盛岡セイコー工業(株) 様	10,000円
(株)しずくいし 様	5,000円
雫石プリンスホテル 様	5,000円
新岩手農業協同組合雫石中央支所 様	5,000円
仙建工業(株) 様	5,000円
(株)中村建設 様	5,000円
松ぼっくり 様	5,000円
雫石町社会福祉協議会職員一同	4,500円
長栄館 様	3,000円
ホテル加賀助 様	3,000円
銀河交通(株) 様	2,612円
雫石タクシー(有) 様	2,000円
JR東日本雫石駅職員 様	500円
合 計	146,750円

十月一日より「じぶんの町を良くするしくみ」をスローガンに赤い羽根共同募金運動を全国一斉に展開しております。

今年度も各行政区長さんを通じて、町民の皆様よりたくさんのご協力をいただきました。また、町内の企業等からも、深いご理解を頂戴いたしました。

お寄せいただいた赤い羽根共同募金は全額、岩手県共同募金会へ送金され、より住み良い町づくりに役立つように、来年度地域の社会福祉施設や社会福祉団体、ボランティア団体等へ助成されます。

現在十二月一日から、歳末助け合い募金運動を展開し、町民の皆様より深いご理解とご協力をいただいております。当町の共同募金運動への皆様の更なるご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いします。

平成24年度 赤い羽根共同募金行政区募金実績表

(単位: 円)

雫石地区		御所地区		西山地区		御明神地区	
行政区名	金 額	行政区名	金 額	行政区名	金 額	行政区名	金 額
高前田一区	30,000	鶯 宿	51,000	網 張	10,500	橋 場	10,000
高前田二区	40,500	馬場・大村・男助	44,700	盆 花	5,000	安 栖	14,500
林	101,000	赤 滝	26,500	極楽野	25,500	小赤沢	7,500
上町一・二	90,000	外楨沢	10,500	五 区	38,100	山津田	17,000
上町三	64,500	楨 沢	39,500	六 区	16,500	滝 沢	14,000
中町一	45,000	矢 用	19,500	七 区	21,400	南	16,500
中町二・三	25,000	片子沢	46,000	八 区	37,500	天 瀬	18,500
下町一・二	26,000	天 戸	49,500	野 中	32,500	天 川	15,000
下町三	35,000	安 庭	48,500	小 松	42,700	中 南	16,500
下町四	35,000	籬 野	24,100	林 崎	82,000	中 島	29,500
駅 前	50,000	町 場	10,000	篠 崎	26,000	黒 沢	16,000
長 根	25,000	九十九沢	9,500	上西根	20,500	まがき	18,500
谷 地	36,000	矢 櫃	10,500	八丁野	25,000	下春木場	17,000
晴 山	108,000	元御所	20,000	西根谷地	15,000	上春木場	29,000
中 沼	32,500			上駒木野	11,000	和 野	24,000
陽和郷	8,500			駒木野	30,000	横 欠	20,000
板 橋	37,500			葛根田	20,500	土 橋	11,500
七ツ森・丸谷地	112,930					上和野	16,000
小岩井	13,000					上野沢	11,000
東 町	102,200					岩 持	9,000
黒沢川	66,200					谷 地	12,500
						下川原	12,500
計	1,083,830	計	409,800	計	459,700	計	356,000

行政区募金額 2,309,330円

第65回岩手県社会福祉大会

共に生き、共に支える福祉社会の実現を目指して

平成二十四年十一月八日（木）、第六十五回岩手県社会福祉大会が岩手県民会館で開催されました。

当町からは、「岩手県知事感謝状」一名、「岩手県社会福祉大会会長褒賞」三名の方々が受賞されました。

式典後、「娘は私の希望の光になった」と題して、ダウン症の金澤翔子さんの母親でもある、女流書家の金澤泰子氏より記念講演が行われました。「翔子が産まれた時は、世界一不幸な母親と思ったが、二十六年経った今、世界一幸せな母親だと思っている。生きてさえいれば絶望はない。」と締めくくり、講演最後には、翔子さん本人が登壇し、

ダンスを披露され会場を大いに沸かせていました。

講演後、受賞者ならびに社会福祉関係者が、誰もが安心して暮らすことができる福祉社会の実現に向けて、更なる研鑽を積むことを誓い合い閉会しました。



受賞おめでとう！

★岩手県知事

感謝状

《在宅介護者》

（1名）

工藤 スエ 氏

（片子沢）

工藤氏は、二十一年もの長きにわたり夫の介護にあたり、献身的な介護を行った功績が岩手県知事より認められ感謝状が贈呈されました。

★岩手県社会福祉大会会長褒賞

《在宅介護者》

（3名）

細川 圭子 氏

（長根）

柳村 タツノ 氏

（駅前）

石塚 彰吾 氏

（下町）

細川氏は、四十三年もの長い間、献身的に夫の介護を行ってきた功績により褒章を受賞されました。

柳村氏は、十三年もの長い間、献身的に夫の介護を行ってきた功績により褒章を受賞されました。

石塚氏は、十一年もの長い間、献身的に妻の介護を行ってきた功績により褒章を受賞されました。





笑顔いっぱい 元気いっぱい 西山つ子

西山保育園だより vol.7



園庭の桜の木の葉も落ち、季節は秋から冬へ。落ち葉を投げて遊んだり、おままごとの材料になったり、お母さんにプレゼントと大事に持って帰ったり…落ち葉も子どもたちにとってはとっておきのおもちゃや宝物。園庭には草花や石、土、水などの自然のものが沢山あります。自然の中での遊びを楽しみながら、想像力豊かにたくましく育てほしいと願いながら、保育をしていきたいと思ひます。

うんとこしょ!どっこいしょ! ～大根収穫～

夏野菜を収穫し終えたあと、大根の種をまきました。

青々と大きく育った葉っぱを見て「土の中の大根も大きくなってるかな?」と楽しみにしていた子どもたち。掘ってみると一人では持って抜けないほど、重くて大きな大根が出てきました。「一人で持てないよ～」「重たいー!」と子どもたちの嬉しい悲鳴が響いていました。



きれいに洗ってあげました

目指せ! 未来のサムライブルー ～サッカー教室～



足でボールをとめれるよ!



11月14日(水)、サッカー協会の方をコーチにお招きして、サッカー教室を行いました。

サッカーボールを使っての体操や“だるまさんが転んだ”などのゲームを行い、子どもたちはあっという間にボールと友だちになっていました。

ミニゲームでは、ボールを一生懸命追いかけ、ゴールを決めると大喜びでした!

うさぎきりんぐみ

(0・1歳児)

「ハッピーハロウィン」

ハロウィンに参加した子どもたち。
魔女に仮装した職員からお菓子をもらい、みんなにこにこ笑顔でした！

かぼちゃの箱にお菓子を入れて、仲良くお外で食べました。

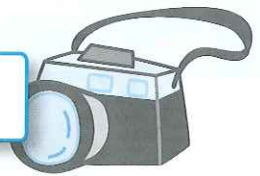


お菓子を入れてもらったよ！



いただきまーす！

トピックス



きりんぐみ

(1・2歳児)

「製作大好き！」

毎月季節にちなんだ製作をしています。始めは絵の具の感触が苦手だった子も今では「もっとやりたい！」と話すぐらい意欲的に楽しんで行っています。作った作品はホールに飾り、保育園を華やかにしてくれます。



上手にできるかな～



いっぱい貼るよ！

ちびっこぞうぐみ

(2・3歳児)

一緒に遊ぼう♪～栗石中学校2年生職場体験 来園～

栗石中学校の2年生が職場体験に来てくれました。お兄さん、お姉さんが大好きな子どもたちは照れながらも「一緒に遊ぼう！」と誘っていましたよ。一緒に野球をしたり、砂遊びをしてたくさん遊びました。



野球を教えてくれたよ！



お姉ちゃんと一緒に♡

ぞうぐみ

(4・5歳児)

「おいしくなあ～れ！」 ～バター作り～

初めてバター作りに挑戦しました。材料が入ったピンをひたすら振り続けて作ります。30分間諦めずに振り続けた子どもたち。やわらかくておいしいバターができました。

自分で作ったバターとジャムを塗って作ったジャムサンドの味は格別でした。



いっぱい振るぞ～



何枚でも食べれちゃう！

社協トピックス



福祉に関するご意見・話題がありましたらお寄せください。
社協事務局 (☎ 692-2230)



受賞された「深谷詩子氏（中央）」。
本当にありがとうございます。

十一月十二日平成二十四年度ボランティア功労者に対する厚生労働大臣感謝状の贈呈式が、盛岡広域振興局で行われ、当町から栗石町ボランティア活動センター運営協議会会長の深谷詩子氏に感謝状が贈呈されました。

深谷氏は、昭和六十年に当社協主催によるボランティア養成講座を終了し、ボランティアグループ「野菊の会」を設立しました。以後二十七年の長きにわたり、高齢者や障がい者の生きがいづくりと社会参加の促進を図り、献身的な活動で地域福祉に尽力された功績が認められ、今回の受賞となりました。

**深谷氏、
厚生労働大臣
感謝状受賞!!**



「車イスにはこの段差が大変なんです。」

もし、自分の家族が介護を必要としたとき、誰もがどうしたらいいか、この課題は、男女の性別関係なく起きていることです。

そこで、自分の大切な家族を守ることができるように、健康や介護に興味関心を持つている男性の方を対象とした「男の初心者介護教室」が、十月二十日（土）から計三回コースで開催され、延べ三十六名が参加しました。

介護教室では、ベテランヘルパーによる衣服の着脱等の介護に関するコツや、自宅でも簡単にできる料理法・レシピ等、すぐに役立つ情報満載の講義に、参加者



「炊飯器ひとつでご飯とおかゆができるんだ!!」

の皆さんは真剣な表情で講義に臨んでいました。

また、介護用具の使い方や簡単に寝ている人を起こす方法を学んだ参加者からは、「こんなに簡単にできるんだ。違いがすぐ分かる。」終始驚いている様子でした。

最終日には三回コース全て受講された十名に修了証書が手渡され、介護の大切さ・難しさを実感した教室となりました。



男だからってやらないわけにはいかない!!

「男の初心者介護教室開催!」

社協だより

雫石町福祉演芸大会

十一月十三日（火）雫石町中央公民館にて、「平成二十四年度雫石町福祉演芸大会」が開催されました。当日は、各地区老人クラブや町内の福祉団体等から、多くの方々が出演し、日頃の練習の成果を披露し、観客に笑いと感動を振りまきました。



男の料理弁当に絶賛!!

～一人暮らし老人昼食会開催～

十一月二十二日（木）一人暮らし高齢者を対象とした「鶴の会」が「道の駅雫石あねつこ」・「しずく館」で開催されました。今年もまた、男の料理教室受講者の方々が丹精込めた「男の手作り弁当」が、参加された三十三名の方々に配られました。参加者の中には、毎年愛情のこもったお弁当を待ち望んでいるという方もおり、参加者一同食を楽しんでいるようでした。



「愛情たくさん込めてます♪」

「また、来年も会いましょうね!」

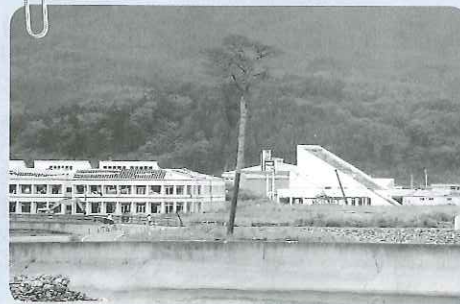


手をつなごう
がし和の郷通信

十一月十八日（日）福祉作業所かしの郷にて、今年で八回目を迎えた「すてきな♡福祉作業所のチャリティーバザー」が開催されました。当日は、多くの来場者でにぎわい、模擬店や各コーナーを担当している施設利用者や職員も、自然と大きな声で会場に活気を与えました。

また、恒例となった「餅まき」にも多くの方が参加し、足の踏み場のない状況でした。今回の収益の一部は、町の福祉の向上のために雫石町共同募金会へ寄贈しました。

皆様には、日頃より深いご理解とご協力を賜りまして、本当にありがとうございます。この場をお借りして、感謝の言葉とさせていただきます。



「この光景を忘れません。」

九月四日から五日にかけて宮城県沿岸部への研修視察を企画し、会員三十名が参加しました。昨年三月十一日から約二年が経過としている状況を、ガイドの方の案内を聴きながら、自分たちの目で見て、多くのことを感じ、考えた研修となりました。

また、十一月十三日に開催された「町福祉演芸大会」では、当協会初の試みである唄と踊りを交えた寸劇を行い、出演者・会員ともに楽しむことができました。

照会先：町身障協事務局（櫻小路）
電話 692-4626

身障協通信

雫石町身体障害者福祉協会

社会福祉協議会より皆様へご報告

当社会福祉協議会では、十一月一日より一ヶ月間、町総合福祉センター暖房設備老朽化に伴い、安全な施設として、町民の皆様にご利用いただけるよう、暖房設備の改修工事を行いました。日頃より、町総合福祉センターをご利用いただいております皆様方には、大変ご迷惑をおかけいたしました。

また、今回の暖房設備改修工事に伴い、皆様方からお寄せいただいた福祉基金を取崩し、町からの補助金と合わせ、改修工事費用に充当する結果となりましたこと併せてご報告申し上げます。

今回の改修工事費用は、総額8,872,500円で、栗石町・当社会福祉協議会(福祉基金)で折半するものです。
《平成24年12月現在

25,882,820円)

取崩し後》

福祉基金は、栗石町の福祉を充実させる活動のためにという趣旨のもと、皆様方より、香典返しや托鉢をしていただいたものを積立させていただいております。町の福祉の拠点である当総合福祉センターの施設の改修をすることにより、安全かつ快適に施設利用ができ、充実した福祉活動ができることから、当社理事会・評議員会で審議、承認をいただき、今回、福祉基金を取り崩させていただくことになった次第です。

当社会福祉協議会並びに町総合福祉センターでは、町民の皆様が、快適に集える施設として努めてまいりますので、ご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。



社協行事予定

12月	15日(土) 麺'sクラブ
	19日(水) 理事会・評議員会
	スノーバスターズ総会
1月	5日(土) スノーバスターズ出陣式
	12日(土) 男の料理教室
	スノーバスターズ
	19日(土) 麺'sクラブ
	スノーバスターズ
	25日(金) 心配ごと特別相談所
	26日(土) スノーバスターズ
2月	2日(土) スノーバスターズ
	9日(土) 男の料理教室
	スノーバスターズ
	15日(金) 在宅介護者の集い
	16日(土) 麺'sクラブ
	スノーバスターズ
	23日(土) スノーバスターズ
	25日(月) 障がい者相談
	28日(木) 一人暮らし老人昼食会
3月	9日(土) 男の料理教室
	16日(土) 第36回栗石町社会福祉大会
	麺'sクラブ

*事情により、変更になることもあります。予めご了承ください。

やさしいまごころ
ありがとうをこめて

(平成24年7月以降受付分)

福祉基金寄付金

●栗石町グラウンドゴルフ協会
会長 佐々木 正志 様

10,000円

(福祉活動のために)



編集 後記

皆様のもとに、新鮮な地域の情報を提供したいなど、考えていると、もう社協だよりを発行しなければならぬ時期に!! ばたばたとした今回の発行になってしまいました。今まで、余裕のある発行ができていたとは、思いませんが(笑)

見ていただいている方はご存知かと思いますが、社会福祉協議会のHPをリニューアルいたしました。曜日ごとの担当職員が、ブログも更新していきますので、是非見てください。常に新鮮な福祉の情報を皆様に提供できるように、頑張りますので、今後ともよろしく願います。(春)